

## 水道料金改定市民説明会 開催報告

令和5年 10 月6日

上下水道部水道課

開催日	開催場所	参加市民数	主な質問・意見等
令和5年9月 19 日(火)	小坂 きこりセンター	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併の時ではなく何で今、市内統一するのか。</li> <li>・大口径は値上げが大きく、段階的にはできないのか。</li> <li>・簡水の落合浄水場と上水の下呂浄水場は同じ施設とは思えない。なぜ、上水の口径別料金設定を簡水区域にも適用するのか。</li> <li>・機械設備が上水＞簡水と差を感じる、料金統一後は簡水の設備導入を。</li> <li>・下呂浄水場には自家発電機がある。各施設に整備できないか。</li> </ul>
令和5年9月 21 日(木)	萩原 星雲会館	0名	
令和5年9月 26 日(火)	下呂 市民会館	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道料金の改定は予定されているのか。</li> <li>・簡水は、一つにまとめることはできないのか。</li> <li>・上水区域と簡水区域ではどちらの老朽化が進んでいるのか。</li> <li>・人口減少が進めば次の料金改定が早くなるのか。</li> <li>・学校、プール施設(大口径)への影響は。</li> </ul>
令和5年9月 28 日(木)	金山 市民会館	16 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既設水道管 570 kmの布設年度は把握しているのか。</li> <li>・改定率の5%の根拠は。</li> <li>・上水と簡水の料金設定は、合併前から違うのか。</li> </ul>
令和5年 10 月3日(火)	馬瀬 中央公民館	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上水と簡水の人口の比率は。</li> <li>・合併後年数が経過しているが、統一できなかった理由は。</li> <li>・馬瀬も漏水が多いのか。</li> <li>・水道の施設管理は委託に出しているのか。</li> </ul>

市民説明会での主な質問・意見に対する市の回答、考え方

主な質問・意見等	市の回答、考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併の時ではなく何で今、市内統一なのか。</li> <li>・合併後年数が経過しているが、統一できなかった理由は。</li> <li>・上水と簡水の料金設定は、合併前から違うのか。</li> </ul>	<p>・下呂地域市街地の上水道事業は町村合併前から「地方公営企業法」に基づく公営企業として、独立採算により運営されており、簡易水道事業との料金統一は困難であるとの考えから、現在まで統一がされていませんでした。</p> <p>しかし、水道は生活するうえで最低限かつ必須の設備であり、価格の面からも公衆衛生の面からも市内全域に平均的なものを提供すべきという観点から、今回の改定により市内統一をします</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口径は値上げが大きく、段階的にはできないのか。</li> </ul>	<p>・今回の料金改定は、市内でも格差のある料金を統一するという基本的な考えから、段階的に料金を改定する緩和措置は設けておりません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、上水の口径別料金設定を簡水区域にも適用するのか。</li> </ul>	<p>・大きい口径の施設が一時的に水を使用しない場合であっても、その口径に見合った給水能力を維持しなければなりません。また、大きい口径の施設は一度に大量の水を使うことができるため、小さい口径のものと比べて施設への負担が大きくなってしまいます。このような理由から、基本料金に差をつけることが公平性の観点から望ましいという事になりました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下呂浄水場には自家発電機がある。各施設に整備できないか。</li> </ul>	<p>・下呂市の水道事業は、大変多くの施設を所有しています。すべて施設に自家発電を設置するには、非常に多額の費用がかかります。優先順位を検討しながら、必要に応じて整備を行ってまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡水は、一つにまとめることはできないのか。</li> </ul>	<p>・簡易水道事業は、市内すべての施設が山間地域にあるため、簡易水道の施設を物理的に統合することは困難なため、今後も多くの施設を維持管理していく必要があります。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・上水区域と簡水区域ではどちらの老朽化が進んでいるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらも同様に老朽化が進んでいます。施設を維持していくためには、計画的な施設の更新が必要です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・改定率の5%の根拠は。</li> <li>・人口減少が進めば次の料金改定が早くなるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の料金改定は、将来にわたり水道事業を継続していくため、老朽化した水道管の更新(耐震化)や機械設備の更新を計画的に実施するため、令和6年度から令和15年度までの10年間の収支見通しを試算のうえ、今後必要となる料金収入額を算出し、改定率を決定しております。</li> <li>今後急激な人口減少や、経済状況の変化、災害などの発生により、大規模な施設修繕等が発生した場合は、さらに料金の改定が必要となる場合もあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、プール施設(大口径)への影響は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易水道区域では、基本料金が口径別の料金に改定されるため、口径の大きい施設については、使用水量によって料金が増額する場合があります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既設水道管 570 kmの布設年度は把握しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の設計書等を確認しながら、布設年度について把握をしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上水と簡水の人口の比率は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度末の給水人口は、上水道区域 6,069 人、簡易水道区域 23,561 人(上水 2:簡水 8)です。</li> <li>ただし、有収水量の比率は、上水道区域は旅館等の施設が多いことから、上水道区域 1,669,045 m<sup>3</sup>、簡易水道区域 2,611,667 m<sup>3</sup>(上水 4:簡水 6)となっています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道の施設管理は委託に出しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度から、地元企業を含めた3社が構成員となる企業体へ施設の運転維持管理業務を委託、平成 31 年度からは料金徴収業務を含めた包括委託により業務を行っています。</li> <li>外部委託により、民間事業者が持っている高い技術力や専門的な知識等を活用しながら、今後もサービスの向上に努めてまいります。</li> </ul>

・下水道料金の改定は予定されているのか。

・上下水道事業の経営に必要な経費は、お客様からいただく料金で賄うという「独立採算制の原則」があります。現在、お客様への影響を考慮し、運営費の赤字分を市税で補填していますが、本来市税は、福祉、教育、道路などの市民サービスに充てられるべきものであり、赤字の補填が多くなると、本来のサービスの低下を招いてしまう恐れがあります。

使った人が使っただけ負担するという考え方に基づき、市税からの負担を減らし、健全な経営を行うため上下水道料金の改定にご理解、ご協力をお願いします。

・下水道料金については、令和8年度から段階的に料金改定を行う予定です。